



2019年6月吉日
株式会社JTB 霞が関事業部

JENESYS2019

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」高校生派遣

(派遣対象国：タイ、マレーシア)

参加校募集のご案内

「JENESYS2019」高校生派遣へのご参加を希望する日本人高校生を下記の通り募集します。
つきましては、本ご案内をご覧いただき、奮ってご応募ください。
(なお、応募は学校単位(1グループ8名)での応募となります。)

I. 概要

1) 概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府(外務省)が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するものです。

JENESYS2019 派遣事業は、対日理解促進交流プログラムのうち、アジア大洋州の各国・地域を対象とした事業です。ASEAN 諸国(インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス)10カ国との間において、1年間でおおよそ160名の将来を担う人材(原則、高校生・大学生・大学院生等)を対象とし、9日間程度派遣します。

2) 目的

日本とASEAN 諸国との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材を派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者から積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

3) 派遣国・派遣期間・派遣日数・人数

派遣国	派遣期間(予定)	派遣日数	派遣人数
タイ	2019年12月中旬～下旬	9日	16名
マレーシア	2020年3月初旬～中旬	9日	16名

※対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」高校生派遣 派遣対象国は、タイ、マレーシアの2カ国となります。

※参加者8名(学生7名、引率者1名)グループ単位での応募、各国への派遣人数・グループは、各国16名、各国計2グループとなります。

※同一校2グループ(学生14名、引率者2名)での同一派遣国への応募できますが、各国2校以上の申込みがあった場合には、1グループでの参加を前提とした選考となります。

※派遣国との調整により、正式な派遣期間を決定いたします。
8月末までには、派遣期間が確定いたします。

4) プログラム内容

- (1) 出発前オリエンテーション（出発日前日又は当日の国際線出発空港にて）
- (2) 派遣国日本国大使館又は派遣国政府等の関係機関への表敬
- (3) 学校訪問（又はその他の訪問先）交流時での日本の魅力情報発信（プレゼンテーション及び実演（歌、踊り等のパフォーマンス））
- (4) 日本と関わりのある団体・施設への訪問（政府開発援助（ODA）サイト、日系企業、NGO団体、文化交流施設等）
- (5) ホームステイ、ホームビジット又は派遣国地域活動への参加
- (6) 市内視察
- (7) ワークショップ、報告会(気づき及び『アクション・プラン』の作成・発表)
★アクション・プランとは、派遣国で学び、経験したことを元に、日本と派遣国とのネットワーク構築、日本に関する継続した情報発信を目的として作成する、帰国後の活動計画のことです。

※ 現地事情によりプログラム内容は変更される可能性があります。
※ 全てグループ行動となり、自由行動の時間は基本的にはございません。
※ 語学研修プログラムではございません。

5) 渡航前準備・プログラム中の活動・帰国後活動（全て必須）

- (1) 渡航前準備
 - 1) 派遣国の歴史、文化、政治、経済、宗教、民族等の事前学習
 - 2) 日本の外交姿勢、歴史、文化、政治、経済、先端技術や在住地域等の事前学習
 - 3) 日本の魅力情報発信（プレゼンテーション及び実演）に向けた準備
- (2) プログラム中の活動
 - 1) プログラム中の経験や日本の魅力を、英語や各国言語を用いて、Facebook・ブログ等のSNSで、情報を毎日発信
 - 2) 日本の魅力情報発信（プレゼンテーション及び実演）を実施
 - 3) アクション・プランの作成と報告会で発表
- (3) 帰国後活動
 - 1) アクション・プランの実施及び実施報告書の提出（帰国後3ヶ月以内に実施）

(例)

 - ・ 在籍高校、在住地域等での報告会の実施
 - ・ 新聞等のメディアや広報誌等へのプログラム経験の寄稿
 - ・ 参加者間で同窓組織を立ち上げ、日本の魅力（留学・就職情報など含む）を派遣国及び世界各国へ継続的に発信
 - ・ 派遣国訪問学校との継続的な交流活動の計画・実施
 - 2) プログラム直後アンケートの提出
 - 3) 3ヶ月後アンケートの提出

II. 募集要項（下記の項目を全て満たすこと）

1) 応募条件

- ・ 派遣時に学生は高校生であること、また、引率者は35歳以下であること(*1)
- ・ 学生・引率者ともに、日本政府の資金で実施している海外渡航プログラム参加経験がないこと(*2)
- ・ 派遣国での長期滞在経験がないこと
- ・ 心身ともに健康であること(*3)
- ・ 原則として日本国籍を有すること(*4)

- ・同校内グループ単位で参加できること(*5)(*6)
- ・派遣国への興味・関心・学ぶ意欲があり、派遣国で積極的に交流しコミュニケーションをとることができること(*7)
- ・本事業の趣旨を理解し、
 - *渡航前準備・プログラム中の活動・帰国後活動に主体的・能動的に取り組めること
 - *日本の外交姿勢や日本の強みや魅力を積極的・持続的に発信できること
 - *プログラムの成果（アウトプット）を出すことができること
- ・日本の代表になるという自覚を持ち、そして、規律ある団体行動がとれる、JTB が定めたルール（自由行動禁止、門限厳守等）に従うことができること
- ・別添、『対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」高校生派遣 参加同意に当たっての確認事項』をよく読み、「参加同意書（プログラム中の責任範囲への同意、個人情報ならびに肖像権の使用に関する同意含む）」に同意すること

- (*1) 参加校として決定後、校内で参加者（学生ならびに引率者）を選考いただきます。
- (*2) 下記以外にも様々なプログラムがありますので、必ず高校にて、推薦する学生ならびに引率者の参加経験有無について確認をお願いします。
- （例）JASSO（日本学生支援機構）海外留学支援制度、トビタテ！留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）、内閣府（青年国際交流事業等）、外務省による派遣事業（対日理解促進交流プログラム、KAKEHASHI Project、JENESYS2.0、キズナ強化プロジェクト等）
- (*3) 本プログラムは集団行動となり、また、多忙なスケジュールにも耐え、プログラムを遂行する体力・精神力が必要となるため、既往症又は慢性疾患、怪我の治療中や妊娠中等の場合は、原則、参加は認められません。
- (*4) 永住者及び特別永住者（日本居住者）については、提出書類と一緒に証明書（両面）のコピーを提出して下さい。外務省への確認後、参加の可否を決定します。
- (*5) 同校内で、参加者 8 名（学生 7 名、引率者 1 名）グループ単位での参加となります。（2 グループでの参加を希望する場合には、参加者 16 名（学生 14 名、引率者 2 名））
- (*6) 引率者の役割
- ・同国に派遣される他校との連絡、調整を行う。
 - ・渡航前準備・プログラム中の活動・帰国後活動に、グループが積極的に取り組むよう主導し、JTB への実施報告提出等のサポートを行う。また、引率者自身も学校の HP や SNS 等にてプログラム報告等の情報発信を積極的に行う。
 - ・JTB スタッフやプログラム同行者からの指示を連絡し、調整を行う。
 - ・プログラム中の規則（身だしなみ、自由行動禁止、門限厳守、集合時間厳守等）を守ると共に、守らない者がいる場合には、注意の上対応する。
 - ・派遣国の訪問箇所（表敬先、視察先、交流先）等での代表挨拶を行う。
 - ・体調不良者発生などの緊急時には、スタッフと協力し対応する。
- (*7) 語学力
- （目安）英語 英検 2 級、TOEIC 600 点程度以上。加えて、派遣国公用語でのコミュニケーションが取ればより望ましい。
 - 参加決定後、改めて、参加申込書への記入と、言語能力の証明書（または参加校の教員からの言語能力に関する推薦状）の提出をお願いします。

2) 募集人数

派遣国	参加者数	派遣国	メンバー数
タイ	16 名	マレーシア	16 名

※参加者 8 名（学生 7 名、引率者 1 名）グループ単位での応募になります。

※同一校 2 グループ（学生 14 名、引率者 2 名）での同一対象国への応募もできますが、各国 2 校以上の申込みがあった場合には、1 グループでの参加を前提とした選考となります。

3) 参加費

以下の費用を本プログラムにて負担します。

- ・ 国際航空賃
(日本出入国国際空港(成田又は羽田)～派遣国往復 エコノミークラス)
- ・ 派遣国滞在中宿泊費 原則2～3名1室利用
- ・ 派遣国滞在中食費
- ・ 派遣国内移動交通費(プログラムに関する移動のみ)
- ・ 派遣国施設入場料
- ・ 海外旅行傷害保険加入(本プログラム規定の補償内容)

※上記の経費以外は参加者負担となります。主なものとしては次の通りです。

- ・ 旅券(パスポート)取得にかかる費用
- ・ 日本出入国国際空港(成田又は羽田)までの国内移動費ならびに日本出入国国際空港付近での前泊・後泊費
- ・ 航空機超過手荷物費用
- ・ 派遣国の訪問箇所への記念品やお土産代
- ・ 渡航前準備・プログラム中の活動・帰国後活動にかかる全ての費用
- ・ 派遣国でのプログラムに関係ない全ての費用
- ・ チップ や 私的な買い物や小遣い
- ・ 滞在中宿泊箇所での個人的費用(インターネット、電話、ミニバー、クリーニング等)
- ・ 参加者が別途、任意で加入する海外旅行傷害保険
- ・ 参加決定後の自己都合による参加中止にかかるキャンセル料
- ・ 参加決定前に発生した本プログラム参加準備にかかる費用

4) 提出書類

応募申込書(学校用)(別添)

5) 応募方法・締め切り

応募書類提出：2019年8月2日(金)まで(必着)

提出方法：郵送

- ・ 送付先
〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 23F
株式会社 JTB 霞が関事業部 「JENESYS2019」高校生派遣担当

6) 審査結果通知(8月下旬)

- ・ 可否結果について、代表者様宛にメールにてご連絡いたします。
- ・ 審査過程で電話・メール等により、簡単な質問等をさせていただくことがあります。
- ・ ご提出いただきました応募書類は、返却いたしませんので、ご承知おき下さい。
- ・ 可否判定に係る個別のお問い合わせには、お答えできません。

7) 予定

2019年8月2日(金) 応募締切
2019年8月30日(金) 参加校決定

※選考された学校 様へは、改めて、渡航にかかる手続きのご案内をさせていただきます。

8) 応募先・問い合わせ先

実施団体

株式会社 JTB 霞が関事業部

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」高校生派遣担当

〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 23F

電話:03-6737-9447 FAX:03-6737-9265

E-mail:jenesys2019haken@jtb.com

受付時間（月）～（金）（09:30～17:30）土・日・祝祭日除く

※お問合せの際には、「JENESYS2019」高校生派遣の旨をお申し出ください。